

[070] 語文研究表紙奥付等

<http://hdl.handle.net/2324/10197>

出版情報：語文研究. 70, 1990-12-25. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：



学会彙報

▼平成二年度九州大学国語国文学会総会並びに研究発表会

於九州大学 平成二年六月三日(日)

語構成とアクセント

状態化形式「テイル」の意味特徴

夏目漱石『野分』について

『濱松中納言物語』に関する一考察
能宣集について

『濱松中納言物語』の成立時期

——『狭衣物語』巻二巻頭部受容の可能性をめぐって——

太宰治のディスクール——『晩年』の場合——

接統助詞「ケレド(モ)」の発達

——上方語の場合——

近世木活のこと

▼第四十回西日本国語国文学会

於鹿児島大学教育学部 平成二年九月二十九日(土)・三十日(日)

《研究発表》

都の錦・自伝の風景

鹿児島県瀬娃町方言の語中有声化をめぐって

『竹斎』の改訂について

『宇津保物語』巻名考

《公開講演》

梅崎 光

趙 南 徳

道端 香 苗

藤 島 綾

福 田 智 子

後 藤 康 文

山 崎 正 純

坂 口 至

中 野 三 敏

若 木 太 一

木 部 暢 子

入 口 敦 志

坂 本 信 道

方言と国語史

代官と行脚俳諧師 ——俳壇史研究の一視点——

大内 初 夫
(九州大学関係者のみ)

▼卒業論文構想発表会

於九州大学文学部会議室 平成二年十一月二日(金)

平成三年度九州大学国語国文学会

総会並びに研究発表会のお知らせ

日時 平成三年六月二日(日)

場 所 九州大学文学部

※研究発表御希望の方は、発表題目を明記の上、九州大学国語国文学会宛、平成三年四月二十七日(土)までに、お申し込み下さい。

執筆者紹介

入 口 敦 志 九州大学大学院(博士課程)

福 田 智 子 九州大学大学院(修士課程)

坂 口 至 熊本大学文学部助教授

木 部 暢 子 鹿児島大学法文学部助教授